

10月は「ゴミ分別強調月間」です

長野市では、毎年10月を「ゴミ分別強調月間」と定めています。しかし、現状は可燃ごみや不燃ごみなどに資源物が少なからず混入している状況であり、ごみの分け方・出し方の基本的なルールが守られなかったために収集車の車両火災が毎年発生している状況です。今年5月にも稲田区で、不燃ごみの中にスプレー缶(可燃ガス)と使い捨てガスライター・電池が混入していたため大きな火災事故が発生しました。

期間中は、ごみの分け方・出し方の徹底を呼びかけるとともに、市職員による各地区の集積所の巡回を行い、ゴミ出しルール遵守の啓発に取り組みます。メインテーマは『スプレー缶・カセットボンベ、ライター、充電式小型家電は正しく分別して出しましょう』で、サブテーマは『ビンの色ごとの分別にご注意ください』です。下記の資料を参考にゴミの分別にご協力をお願いします。(区長部)

缶 カレンダーの 缶 マークの日に ➡

集積所の **青色のネット袋** へ直接入れてください。

このマークが目印!

ペットボトル

缶詰やボトル缶の分離したフタは一緒に出せます

※中を軽くゆすいで、汚れ・油分を落としてから出してください。
 ※つぶさずにそのままか、軽くつぶす。
 ※切り口でケガをしないようご注意ください。

4週に1回収集

※豊野地区は、1か月に2回

注意 スプレー缶(エアゾール缶含む)・カセットボンベも缶の日に!

スプレー缶が原因の収集車の火災が多発!
必ず使い切ってから火の気のない屋外で穴を空けて缶の日に出してください。
 ※ノズルがとり外せない場合はそのまま出してください。

スプレー缶・カセットボンベの出し方

① 使い切る

スプレー缶には、「使用上の注意」に残ったガスの出し切り方が書いてあります。

② 穴を開ける

●市販のガス抜き用穴開け器を使う
 ●ふき出したガスが顔や体にかからないよう注意

③ 缶の日に出す

「缶の日」に飲料用の缶と同じ市の収集用ネット(青色)に入れる

【注意】 火の気のない屋外で

注意 対象とならないもの

- 塗料やオイル等の空き缶(スプレー缶以外のもの)
- 一斗缶以上の大きさの空き缶

➡ **不燃ごみへ**

リサイクルのため

ビンの分別にご協力ください

3種類に分けてコンテナに入れましょう

色分けポイント

①日の光にかざして、ビンの色を見てみましょう
 ②ははっきりとした無色と茶色以外は、「その他の色」に分けましょう

無色透明
(すりガラス状含む)

「無色透明」「無色すりガラス状」

その他の色
(青・緑・黒など)

淡く青みがかったり

茶 色

ワインボトルなど

迷ったら **青色** コンテナへ

- ・フタをはずし、汚れ・油分を軽くゆすいでください
- ・フタのとれない部分・ラベルはそのまま OK
- ・割れたビンも色分けして一緒に出せます

ビンの日にさせないもの
(不燃ごみへ)

陶磁器、化粧品のビン、乳白色のビン、果実酒用保存ビン、塗料・シンナー・薬品のビン(ただし飲み薬のビンはOK)、ガラス食器、コップ、板ガラス、耐熱ガラス、哺乳ビン、ビンのふた(金属製)

ビールビン、一升ビン、牛乳ビンなどのリターナブルビンは、できるだけ回収を行っている販売店へご返却ください